

京王線沿線まちづくり通信

発行：2008年10月 世田谷区交通政策担当部鉄道立体・街づくり調整担当課

2面 ▶ ① 沿線各駅周辺まちづくりの動き
3面 ▶ ② 京王線沿線街づくり連絡会

4面 ▶ ③ 京王線沿線まちづくりオープンハウス開催
▶ ④ 沿線歩いて発見（代田橋駅）

玉川上水のみどり（奥に代田橋駅舎がみえます。）

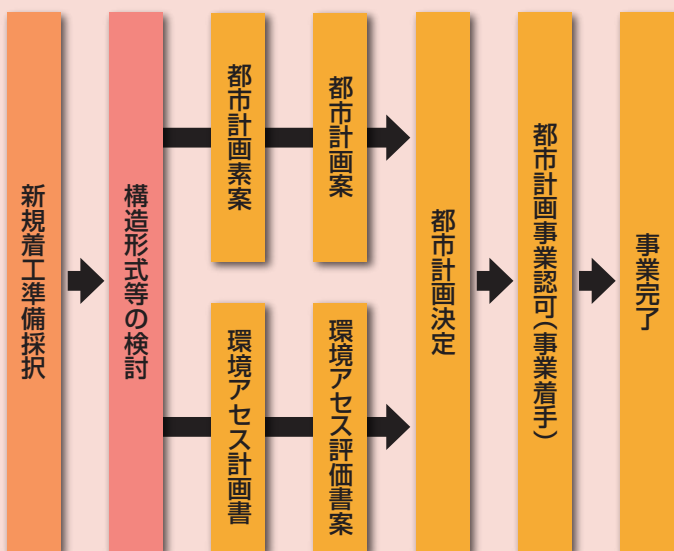
平成20年5月1日、京王線の代田橋駅～八幡山駅付近の区間が連続立体交差事業の新規着工準備箇所として国の採択を受けました。これにより、東京都は構造形式等の検討、都市計画の手続きなど、事業化に向けた準備を進めていきます。

現在、世田谷区では連続立体交差事業にあわせ、代田橋駅から仙川駅間の沿線まちづくりについて地元の皆さんと検討を進めています。



代田橋駅南口

● 連続立体交差事業の概ねの流れ



第4回 世田谷区「開かずの踏切」※ 解消促進大会

今年7月2日、第4回世田谷区「開かずの踏切」解消促進大会（主催：世田谷区「開かずの踏切」解消促進協議会、共催：京王線立体化推進協議会）を烏山区民センターにて開催しました。

大会では、この度、新規着工準備採択を受けた代田橋駅～八幡山駅付近の区間について早期実現を図ること、さらに八幡山以西についても、この区間に引き続き早期の事業化を要望することを決議しました。その後、7月30日、世田谷区「開かずの踏切」解消促進協議会会長の熊本区長は、京王線連続立体交差事業の早期実現についての要望書を東京都知事あてに提出しました。



会場のようす



会長あいさつ

※開かずの踏切：ピーク時1時間に40分以上遮断している踏切

① 沿線各駅周辺まちづくりの動き

各駅周辺地区協議会の検討状況

(平成 20 年 10 月現在)

沿線各駅周辺の地区では京王線連続立体交差事業を契機として、地元の発意により活発にまちづくりが進められています。区の街づくり条例に基づく街づくり協議会や協議会準備会なども各駅で設立され、駅前広場や安全安心の街づくりなどについて検討が進められています。

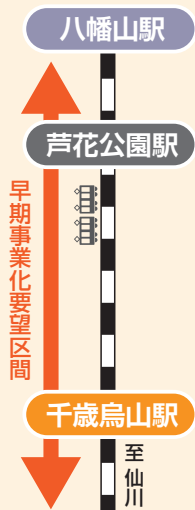
詳細につきましては、各街づくり協議会又は区の問い合わせ先（右ページ）までお問い合わせください。



至 笹塚	街づくり協議会あり	設立準備中	駅名ミニストーリー
	代田橋駅	<p>● 代田橋駅周辺地区街づくりを考える会 (H19.6)</p> <p>駅周辺の2町会3商店会の代表者が区担当者と一緒にこれからの駅周辺街づくり（鉄道の立体化や道路整備、商店街の活性化、玉川上水の再生など）について検討を進めています。</p>	
明大前駅	<p>● 明大前駅周辺地区街づくり協議会 (H18.11)</p> <p>①踏切事故の撲滅 ②踏切渋滞の解消 ③商店街の活性化を3本柱に協議会を設立。商店街と周辺住宅地とのバランスや、駅周辺に立地する学校との連携を図りながら協議会を運営しています。</p> <p>現在月1回、駅前広場や都市計画道路の整備、緑の保全・創出などをテーマに検討を進めています。</p> <p>〒156-0043 世田谷区松原2-45-1 明大前ピースメーカーズボックス内 TEL: 03-3323-8121 FAX: 03-3323-6514</p>		<p>近くに陸軍の火薬庫があったことから、大正2年「火薬庫前」駅が誕生します。大正6年に駅名を「松原」駅に改称しましたが、その後、明治大学予科が移転してきたのに伴って、駅舎の位置も移設して昭和10年に「明大前」駅が誕生しました。</p>
下高井戸駅	<p>● 下高井戸駅周辺地区街づくり協議会 (H18.10)</p> <p>杉並区民と一緒に検討が進められています。両区民がお互いに協力して一つの協議会になって、先人が残した「信用」や「シモタカラしさ」を信念として、駅周辺地区の商業及び住宅地区の街づくり計画の検討を進めています。生鮮三品を中心とした市場の再生、日大等学校との連携など、次世代につなぐ人情があふれるまちを目指しています。</p> <p>〒156-0043 世田谷区松原3-30-12 下高井戸商店街振興組合事務所内 TEL: 03-3322-5945 FAX: 03-5300-3347</p>		<p>大正2年「下高井戸」駅が誕生します。高井戸の地名は、宗源寺の境内にある高井堂に由来すると言われています。ほかにも「地下水が良質である」等の説があります。昭和13年、「日大前」駅に改称されましたが、昭和19年から再び現在の駅名となりました。</p>
桜上水駅	<p>● 桜上水駅周辺地区街づくり協議会 (H20.6)</p> <p>京王線連続立体交差化の動きを駅周辺の街づくりを進めるための絶好の契機ととらえ、この6月、178名の協議会員を抱える協議会がスタートしています。開かずの踏切、商店街の利便性、駅前広場、周辺道路、憩いの空間などについて検討し、手づくりのまちづくりを目指しています。</p>		<p>大正15年「北沢車庫前」駅が新設されます。当時、玉川上水が駅の北側を流れ、堤の桜並木が親しまれていたところから昭和12年に「桜上水」と改称されました。</p>
上北沢駅	<p>● 上北沢駅周辺地区まちづくり懇談会 (H20.7)</p> <p>鉄道の立体化にあわせて駅周辺まちづくり懇談会が発足しました。まちづくりの課題を整理するために、まち歩きなどを行いまちの点検を進めています。</p>		<p>武蔵野台地の中でも変化に富む地形で「沢」が多く、この付近は沢の上流となるところから上北沢と呼ばれるようになりました。</p>
八幡山駅	<p>● 八幡山駅周辺地区まちづくり懇談会 (H20.7)</p> <p>駅の南東約1キロのところに宝暦7年(1757年)に建てられたと思われる八幡宮があり、地名の由来と言われています。</p>		

新規着工準備採択区間

(カッコ内は設立年月)



● 芦花公園駅周辺地区街づくり懇談会 (H20.4)

駅周辺の生活拠点としての街づくりを進めるため、街づくり懇談会がスタートしました。街の魅力の発見や点検等、街づくりの課題の整理や、協議会設立に向けた準備が進められています。

蘆花恒春園の最寄駅として、従前の「上高井戸」から昭和12年からこの名に改称されました。蘆花恒春園は現在、東京都の公園となっています。

● 千歳烏山駅周辺地区街づくり協議会 (H19.9)

まちの南北を分断する「開かずの踏切」の解消を最優先課題として協議会が設立しています。先進事例の良いものは取り入れ、世田谷の北口玄関千歳烏山ならではの貴重な財産を残しながら地域の皆さんが住み続けたいと思えるような元気なまちづくりを進めています。

大正2年「烏山」駅が誕生します。この付近は、旧千歳村に属していました。また、農地が広がっていたこのあたりは、乾いた黒土で烏のようだったことや烏なども群生していたことなどから、いつしか烏山という地名になったといわれています。昭和4年から「千歳烏山」駅と改称し、現在に至っています。

〒157-0062 世田谷区南烏山 6-3-1
 烏山駅前通り商店街振興組合事務所内
 TEL: 03-3300-0181 FAX: 03-3300-0180

参考：京王電鉄 50 年史

- 沿線街づくり、明大前、下高井戸、桜上水、千歳烏山駅周辺の地区街づくりについてのお問い合わせ
 交通政策担当 鉄道立体・街づくり調整担当課 TEL: 03-5432-2535 FAX: 03-5432-3084
- 代田橋駅周辺の地区街づくりについてのお問い合わせ
 北沢総合支所 街づくり課 TEL: 03-5478-8031 FAX: 03-5478-8019
- 上北沢、八幡山、芦花公園駅周辺の地区街づくりについてのお問い合わせ
 烏山総合支所 街づくり課 TEL: 03-3326-9618 FAX: 03-3326-6159

② 京王線沿線街づくり連絡会

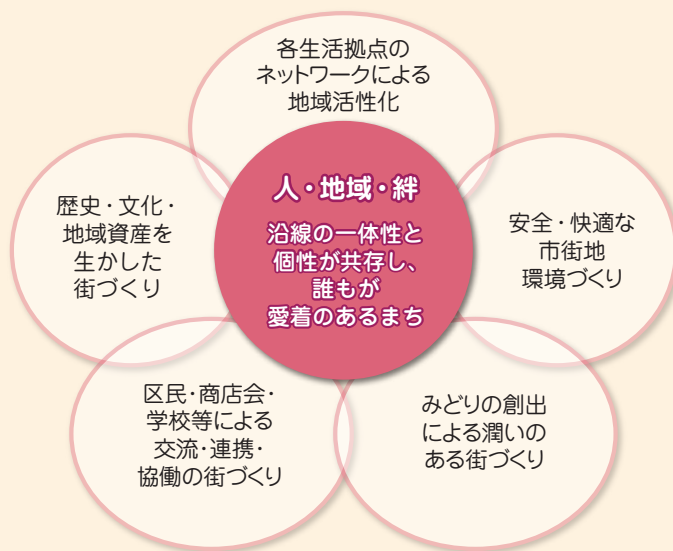
京王線沿線の「開かずの踏切」解消促進は、商店会を中心として一体的な取り組みが行われてきました。

現在、代田橋駅～八幡山駅付近が連続立体交差事業の新規着工準備区間に採択され、さらに八幡山駅～仙川駅付近の区間の早期事業化に向けて、沿線まちづくりの機運が盛り上がっています。

京王線各駅周辺地区の街づくり協議会や懇談会と区では、沿線の一体的な街づくりの推進や各駅周辺地区相互の交流及びネットワークの強化などを目的として、9月5日に京王線沿線街づくり連絡会を開催しました。

連絡会では、各駅周辺地区の街づくり協議会や懇談会などを代表する方々により、京王線沿線まちづくりの考え方(案)が共有され、今後もこの連絡会を通じ、沿線まちづくりを推進していくことなどが確認されました。

京王線沿線まちづくりの考え方(案)



③ 京王線沿線まちづくりオープンハウス

みなさんのお越しをお待ちしています



京王線沿線まちづくり オープンハウスの開催

京王線沿線のまちづくりや道路と鉄道の連続立体交差事業に関し、パネルやパンフレット等を活用した情報提供や担当職員による説明により沿線まちづくりについて理解を深めていただくため「京王線沿線まちづくりオープンハウス」を開催いたします。是非、お気軽にお越しください。

■会場

- ① 松原まちづくり出張所 10月24日(金)、11月7日(金)
- ② 松沢まちづくり出張所 10月29日(水)、※11月8日(土)
- ③ 上北沢まちづくり出張所 11月10日(月)
- ④ 烏山区民センター 10月31日(金)、※11月15日(土)

■時間

15:00 ~ 19:00 (※土曜日は14:00 ~ 16:30)

注) 10月29日の松沢まちづくり出張所は18:00 ~ 20:00

各会場に駐車場はありませんので、お車での来場はご遠慮ください。

会場案内図



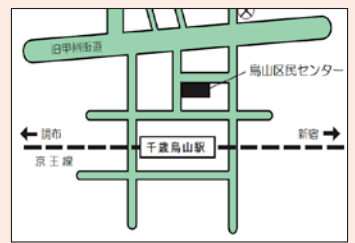
松原まちづくり出張所
2階区民フロア



松沢まちづくり出張所
3階会議室



上北沢まちづくり出張所
地下会議室(大)



烏山区民センター
10/31 3階第7会議室
11/15 3階第2会議室

詳しくは交通政策担当部鉄道立体・街づくり調整担当課までお問い合わせください。

④ 沿線歩いて発見(代田橋駅)

今号から京王線沿線駅周辺や駅間を歩いて発見したまちの資産を案内します。今回は代田橋駅周辺に残る貴重な資産、玉川上水の紹介です。

玉川上水は、江戸市中への給水のために承応3年(1654)竣工しました。多摩川を水源とし、羽村から四谷大木戸まで延長約43km、幅約5.5mの自然流下による素掘りの開渠です。また、新田開発に伴い多くの用水が開削され農地へも水を供給し、農業生産に大いに貢献したようです。

(参考: 玉川上水現況調査報告書(東京都水道局))

区内では、代田橋駅周辺で一部開渠となっていますが、他の箇所は上部が緑道として整備されています。区は、みどりのみずの基本計画を策定し、水辺の再生計画の中で10地区の水辺再生事業地区と4地区の水辺再生構想地区を設定しています。代田橋駅周辺の玉川上水及び緑道は水辺再生構想地区に位置づけています。今後、玉川上水を活かしたまちづくりの検討を地域の皆さんと一緒に考えていくことになります。

みどりのみずの基本計画についてのお問い合わせは
区みどり政策課まで ☎ 03-5432-2282



水辺再生事業と水辺再生構想



駅ホームと玉川上水のみどり

問い合わせ先 ● 交通政策担当部 鉄道立体・街づくり調整担当課 TEL: 03-5432-2535 FAX: 03-5432-3084